

河昌通信

2014年5月

第41号

発行：(株)河昌
文責：藤井潤子
須磨区松風町
5-1-22
☎078-733-0791

良い季節になってきました。

桜にはじまって、チューリップ、つつじ、

ハナミズキ・・・と次から次から花が咲いてきて、

人の動きも活発、外にいるのが気持ちよいです。

こうやって季節が巡って、例年通り順番に

花が咲いて、それをきれいなあと感じて

眺めることができる・・・とてもすこく幸せ

なことだなあと感じる今日この頃です。(年ですかねえ?!)



さて、四月から消費税が8%になりましたが、少しは落ち着かれましたでしょうか? 私どもも、店頭の、商品価格の表示の仕方が変わったり、送料が上がったり、価格も税率の掛け算がしくなったり(内税に慣れすぎて商品の価格もはつきり覚えられないのです)・・・小銭を持って毎日うるうるしております。本当にややこしいです。でもまあ、その件でお客様との会話が増えるというおまけがついてきましたから、何でも良いように解釈して、現状につきあつていくのが楽ちんです。大体が楽天的にできているので、ずいぶん助かっています。

「ひさしぶりの海苔弁」平松洋子

題名に惹かれて読み始めましたが、これがなかなか面白かったです。平松さんは食のエッセイの第一人者だそうで、食べ物にまつわる話をいろいろ載せておられます。食べなきゃ生きていけないのですから、誰でも何かしらを食べて、その場や雰囲気、その食べ物に思い出ができるもの。そういう意味では、食べ物にかかわった仕事ができるのもまた幸せだなあと思っています。



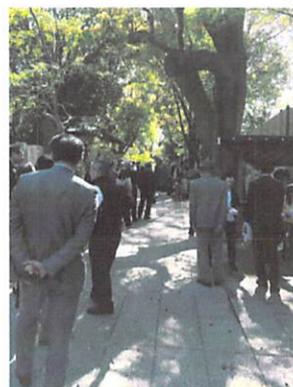
魚鳥塚供養祭

四月十五日(火)、須磨寺さんで「兵庫県鮫商生活衛生同業組合魚鳥塚保存会」さん主催で「魚鳥塚四十周年供養祭」が開催され、招待していただきましたので参加してまいりました。今年が四十周年ということでテレビ局の取材もあり、友人に「NHKのニュースで放送しようたで」と言われました。命をいただいて生かして頂いていることを改めて思いおこします。

そして、こういう機会を作っていただいた

寿司組合の皆さん、塚を建立していただいた

先輩方に感謝致します。



値下げして潰れる会社はたくさんあるが、

値上げして潰れる会社はない。

神田正典著、「仕事のヒント」という本の一説です。仕事でお客さまのところに行く間に電車の中で読みました。解説では、

値下げするということは、粗利が減ることである。その分、今までの利益を稼ぐためには、値下げ率の何倍もの努力をしなければならぬ。つまり、忙しくなって考える暇さえなくなつて、潰れてしまうのだ。体を動かしても利益はアップしない。頭に汗をかくことによつてこそ、利益はアップする。

五月のお休み

三、六、十一、十八、二十五

GWは4連休させていただきます。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

お電話は九時から十七時三十分まで

それ以外の時間は留守番電話がお受けします。